

ご存じですか！文化財

98



問合せ
生涯学習課
(☎0480・62・1223)



所在地 砂原2085番地

砂原地区鷺神社の裏手の池に弁天社がまつられています。

延享2(1745)年、大雨が降り、利根川が決壊し、田畑を水の底に沈めてしまいました。このとき、霊場を巡礼していた娘が人柱となって入水したところ、濁流も鎮まり、決壊口を塞ぐことができたといわれています。人々はその娘の魂を慰めるために、弁天様をまつり、供養をしました。この弁天様が、砂原弁財天です。

弁財天は七福神の一人として、琵琶を弾く女性の姿で知られています。そのルーツ

は古代インドのサラスヴァティーという水を司る女神ですが、さらに女神ヴァーチと結合して、学問や音楽などの神とされました。砂原弁財天は、女性に関する神、財産を増やす福の神、そして水の神など人々の願いをかける神として現在に至っています。

この伝承の背景には、「二度と同じ災禍を繰り返さない」という住民の願いが込められています。川の流域には、水にまつわる伝承や信仰が石造物や地名などに伝えられ、生活に深く根付いています。



砂原弁財天